

龍神けいすけ 議会レポート

津市議会
議員

未来へ
種を蒔こう!

Vol. 2 | 2020年
3月議会～9月議会

市政に関するご要望ご意見があれば
ぜひご連絡ください!



全力で自治体DX(デジタル・トランスフォーメーション)を目指せ!

行政のICT利用、手続オンライン化の遅れ

新型コロナウイルス感染症対策の特別定額給付金の給付においては、オンライン申請で混乱が発生し、アナログでの作業に切り替える自治体もありました。行政のオンライン手続や、業務におけるICT利用は、平時より整備の遅れが指摘されていたこともあって、菅政権は、デジタル・ガバメントを推進していく姿勢を全面に打ち出しました。デジタル後進国といわれるこの国の現状、行政機構を改革していくきっかけになることを確信し、私も政策提言に取り組む決意を新たにしました。

積極的に進めるべき理由

1 利便性UP

多くの分野で、DX(デジタル・トランスフォーメーション)が声高に叫ばれています。行政、特に地方自治体において、いわゆるスマート自治体を目指す理由はどこにあるのでしょうか。まずは、利用者の利便性の向上。2019年施行のデジタルファースト法案で謳われている、デ



ジタルファースト(行政手続をデジタル優先にし、オンラインで完結させる)、ワンスオンリー(情報の入力は一発で済ませる)、コネクテッド・ワンストップ(行政機関、担当課にまたがる手続を一度の申請でOKにする)の理念が実現すれば、ほとんど役所に行かなくても手続ができることとなります。また、個人的な意見として、特に地方においては、行政が率先してICTの活用を進めることで、スマートシティ実現のための産官学連携の旗振り役となるべきだと考えています。

2 効率化

次に、ICT利用による業務の効率化です。行政

は職員数が減少する一方、ライフスタイルの多様化などで複雑化するニーズへの対応をしなければならない現状にあります。業務改善は日々行われてきたと推測しますが、RPAやAIなどデジタルツールの利用により、その可能性を広げることができます。職員の皆さんが真に注力すべき仕事(企画であったり、コミュニケーションが関係する非ルーティン系の仕事)に多くの時間を割くことができるような状況になれば、市民サービスやひいては都市経営にさらに力を入れることができるようになります。

具体的にどうすすめるのか

石橋を叩いて渡る行政の性質上、一気に進めるということは難しいかもしれません。各事業部においてできる範囲から改善していく主体性が求められます。だからこそ、国のデジタル庁設置にも見られるように、強力なリーダーシップをもって進めることが重要であると考えています。デジタル担当の組織を作り、人材を募り、既存の組織に横串を通し、トップダウンで進めるべきです。

GIGAスクール構想の推進について

そもそもGIGAスクール構想って?

①1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現する計画。これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す。(文部科学省パンフレットから抜粋)

②津市においても、GIGAスクール構想の整備が進んでいます。以前より教育のICT利用を促進するための国の地財措置はありましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、国の計画が前倒しされ、また、併行して、その利用も始まります。令和2年度末までに小中学校に1人1台PCの配置およびLAN整備が行われる予定です。

GIGAスクール構想のこれから

教育のICT利用についてはこれまで関心をもつ

て市議会で質問を行ってきました。なぜ取り組むべきなのか。私は、この変化の激しい、価値観が多様化する時代において、画一的でなく、子どもたちそれぞれの能力を活かし、将来の可能性を広げる教育が重要であると確信しているからです。ICTを活用することで、個別最適化された教育を充実させることができます。デジタル教科書や、いろいろなオンライン授業などがフォーカスされますが、すべては個別最適化された教育のためにあると思っています。ハード整備が目的となっているような、なにか特別なことをやろうとする姿勢ではなく、デバイスを鉛筆やノートなどの文房具のように使いこなす環境を作ることこそ重要です。

お問い合わせ先 龍神けいすけ後援会

514-1113 津市久居野村町874-28

E-MAIL info@keisukeryujin.com

TEL/FAX 059-256-1509

WEB keisukeryujin.com

ホームページや
SNSで
発信しています



ホームページ



Twitter



Facebook

3、6月議会、委員会での質問について

コミュニティバス新計画：他交通機関との重複路線の役割分担について

1 3月議会での質問と質問経緯

龍神：第2次津市地域公共交通網形成計画（案）のコミュニティバス再編に係る事業計画について、再編によって路線バスについての利便性が悪化する地域もある。ほかの交通機関と重複する路線の役割分担という観点からの計画ということであるが、どのような意図でルート再編を行ったのか。

都市計画部長：津市コミュニティバスは、現行のコミュニティバス路線では住民の需要に十分対応し切れていない状況であるため、路線の再編を進める必要性があり、利用者の少ない路線やサービスが重複する区間の運行を見直すこととしている。日常生活の移動手段の確保として、通院、買い物への対応を主眼におき、スクラップ・アンド・ビルドの考え方で効率化と需要に応えることの両立を図った。

龍神：コミュニティバスの新計画によって利便性が悪化する地域に関して、どれくらいの協議

の回数を設けたのか。

都市計画部長：これまでに14の地区、地域等で15回の協議をしてきております。

龍神：何かしらの解決策を講じる予定はあるか。

都市計画部長：移動手段をしっかりと確保していくという考え方で、地域の皆様と議論を深め今後さらに具体的な協議を進めていきたい。

龍神：そもそもこの案の計画は、いつまでに固めたいのか。

都市計画部長：第2次の津市地域公共交通網形成計画の案は、本年度内の策定を予定をしている。

龍神：話し合いを重ね、綿密な議論のもと、進めていただきたい。

2 9月議会 建設水道委員会での質問

龍神：一般質問でコミュニティバスの件を質問した際、地域において話し合いを持つということであったが、実際はどう行われたか。

交通政策課長：地域との協議は、令和2年2月から、各地域で、地域の公共交通のあり方検討

会を中心に、44回にわたり協議を実施させていただいた。ルートに関連する地域について、様々なご意見、ご要望をいただきまして、一部内容等については修正を加え、今回事業計画案の最終案として取りまとめた。

龍神：最終案では22点が再変更されたということで、たくさん御意見があったのだろうと思う。概ね意見を酌み取れたとしても100%の正解はない。デマンドバスとかデマンドタクシーという話もあるが、今後の方向性について確認をしたい。

交通政策課長：まず再編したコミュニティバスは、令和3年4月1日より運行を開始する。その運行の実態や利用状況を把握した上で、改善点を検討会等において協議を行い、必要に応じて修正など、住民の方と協議し、運行の見直しを考えていく。

その他の質問について

- ・企業版ふるさと納税について
- ・減薬への取り組みについてレセプトデータの活用
- ・介護総合事業の充実

新型コロナウイルス感染症関連について

6月議会での財政見直しに関する質問

龍神：実質単年度収支（繰越する財源など年度にまたがる要素を除いた当該年度の収支）が連続で減っている状況のなか、補正予算で財政調整基金を5億8,000万円程度使われるとのこと。政策を打っていくことも非常に重要かと思うが、財源が枯渇してしまえば元も子もないので、見直しをお聞きしたい。

政策財務部長：市税収入については、コロナウイルスで影響があるかもしれない。経済活動の低迷によって一時的に減収に転ずるということも予想されるが、一時的な減収への対応としては減収補填債を発行できるという仕組みがあります。また、国の地方財政対策によって、地方税収入などが減った場合には交付税などで措置されるので、急激に財源不足に陥るということはないものと思うが、決して楽観視しているわけではない。

龍神：第2波が到来する可能性は高い。国の手当てが必ずつく保証はない。基金等でも対応は可能か。

政策財務部長：本市ではモーターボート競走場から社会貢献として10億円を繰り入れて、市の独自施策への充当をするとともに、残額の3億7,488万円については新型コロナウイルス感

染症対策事業基金に積み立てて、今後想定される様々な状況において必要な対策を打っていきけるよう措置をしている。そういった中で、国の財源と併せて、市の財源や基金を活用して対応を行っていく。

龍神：先般、国の補正予算が成立し、臨時交付金が2兆円増えるとのこと。どのくらい配分されるかということは把握していないが、それをどのように利用するかのコンセンサスはとれているか。

政策財務部長：検討を進めている。

新型コロナウイルス感染症への適切な対応について(申し入れ抜粋)

1. 津市主催イベントの開催に当たっては、感染症に関する状況の把握に努めつつ、国、三重県からの要請等を踏まえ、引き続き適切な判断に努めること。
2. 多くの市民が関心を持ち、不安と戸惑いを感じている現状を鑑み、その不安を少しでも和らげるため、様々な広報手段を活用して情報発信に努めるとともに、市民に身近な総合支所等において、必要な情報提供や相談対応ができるよう取り組むこと。
3. 状況の推移によっては地元経済への影響も懸念されるところであり、その把握に努めるとともに、相談体制、支援体制の整備を検討すること。

会派での要望書の提出



2月28日（金）に市民クラブより前葉津市長に新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書を提出しました。

お問い合わせ先

龍神けいすけ後援会

514-1113 津市久居野村町874-28

E-MAIL info@keisukeryujin.com

TEL/FAX 059-256-1509

WEB keisukeryujin.com

ホームページやSNSで発信しています



ホームページ



Twitter



Facebook

今後の議会レポートについて

不定期に2回発行させていただいた議会レポートについて、今後は定例会（年に4回ある議会）ごとに発行する予定です。直接お届けさせていただく他、ホームページにもダウンロードリンクを設置しますので、そちらからもご覧いただけます。



龍神啓介プロフィール

1987年4月11日生まれ。三重大附属小中、津高校、慶應義塾大学法学部卒業。証券会社、アルバイト、政治家秘書を経て、2018年執行の津市議会議員選挙で初当選。「未来に種を蒔こう！」をキャッチフレーズに、個別最適化された教育、スポーツ文化の充実、自治体DXなどを旨として政策調査、政治活動を行なっています。